



# かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 24

R4. 3. 8 発行

## 「令和3年度学校教育指導の重点」をふまえた特別支援学校のセンター的機能について

教頭 大和田 浩

「令和3年度学校教育指導の重点」(福島県教育委員会)では、特別支援学校のセンター的機能の発揮、

- 地域におけるセンター的機能の発揮・地域の保健、医療、福祉、教育、労働等の関係機関と連携・協力し、就学前から卒業後までの切れ目のない支援体制の整備に努める。
- 地域の学校等における特別支援教育の充実・地域の幼稚園や小・中学校、高等学校等からの要請に対して、主訴やニーズに応じた相談・研修支援を行い、校内における体制作りを支援する。としています。

現在、本校では、感染症対策を徹底した上で各関係機関と連携し、子ども達や保護者のニーズに応じた支援会議等を開催すると共に、地域の各学校等への相談・研修支援を行っています。

様々な状況に合わせて報告・連絡・相談を密にし、組織としてしなやかに対応して参りますので、関係機関の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 障がいのある子どもたちのタブレット端末活用について

教頭 瀧本 実加

近頃、仕事で“タブレット端末”を活用することが増えてきました。以前から“タブレット端末”は所持していたのですが、どうしても「スマートフォン以上、パソコン未満」という感じで、外出時に動画を視聴するツールでしかありませんでした。しかし、いざ仕事で活用してみると、気になったことをその場ですぐに調べられたり、資料等を写真撮影して拡大しながら確認することができたりと、かなり便利なツールであることに気づき、改めて「活用の仕方次第」であると感じたところです。

さて、学校でも今年度から「GIGAスクール構想」が始まり、児童生徒向けの1人1台端末の環境が急速に整いつつあります。本校の児童生徒をはじめとした障がいのある子どもたちにとって、タブレット端末等のICT機器は、その子どもに合った使い方が見つかれば、使い方次第では今までになかった大きな効果が得られると考えます。例えば、書字が苦手な子であれば、キーボードの入力が未練習の段階でも「音声入力機能」を活用して作文や感想を書いたりすることも容易になり、書くことへの心理的負担が軽減されるでしょう。読むことが苦手、耳から情報を得ることの方が得意な子であれば、「音声読み上げ機能」を活用すれば情報が得やすくなるでしょう。また、「リマインダー機能」を利用して約束の時間を忘れないようにすることもできます。タブレット端末等のICT機器は、使い方次第では、児童生徒の自立と社会参加に向けて後押ししてくれるツールでも考えられます。

だからこそ、子どもたちの周りにいる私たち大人は、その子どもに合った使い方が見つけられるように子どもたちの実態を把握し、かかわっていく必要があると改めて感じています。

## 就学前のお子さんの遊び場 かぜくもひろば

今年度は計5回「かぜくもひろば」を開催いたしました。年間を通して、お集まりの『タンブリンでこんにちは』、パネルシアター『ふしぎなたまご』、ふれあい遊び『バスにのって』での小集団活動を行いました。保護者の皆さんからは、「同じ内容で見通しが立てられて安心して参加できているようでした。」

「とても楽しく参加することができました。また来たいです。」などの感想をいただきました。今年度も新型コロナ感染拡大防止のため、人数を制限しての実施となりましたが、毎日にぎやかで楽しい活動となりました。来年度も子どもたちが安心して楽しく活動できる「かぜくもひろば」を開催していけたらと思います。



# 地域の先生のための ミニセミナー

ミニセミナーは、市内の幼稚園、小・中学校、高等学校の先生方や特別支援教育に関心のある方などを対象とした特別支援教育にかかわる勉強会です。今年度、全3回実施しました。

7月には、「卒業後を見据えて」というテーマで、本校進路指導部の岡崎 あゆみ 教諭から、講話をいただきました。小学部のキャリア教育についてお話いただき、私たちが日頃行っている係活動や役割分担が、段階的な指導につながっていくことを実感することができました。また、現場実習先からの声をお話いただき、卒業後を意識した指導について考えることができました。

10月には、「自立活動について」というテーマで、本校小学部 固山 有希 教諭より、実態把握からどのように中心課題を設定していくか、どうやって具体的な指導内容を決めるのか、という内容をお話いただきました。具体的な指導実践により設定の手順やイメージをもつことができ、感想の中には、他の自立活動の指導例を知りたいという声もありました。

12月には、「特別な支援を必要とする児童生徒の理解と対応について」という内容で、いわき市スクールカウンセラーの千葉 翔平 様から、講話をいただきました。子ども達の行動の背景を考え、根本となる不安やきっかけにアプローチしていくことや、日々の指導の中で支援が適切であるかを考えて試行錯誤することの大切さを、具体例を用いてお話いただきました。

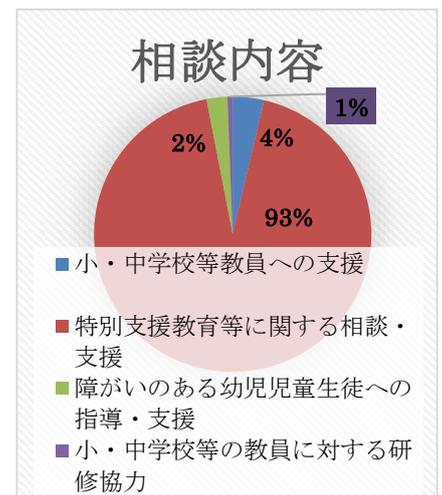
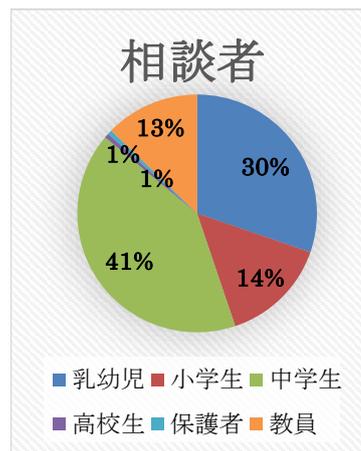
参加者の皆さんから、「もっと〇〇を知りたい」というご意見や、講話内の具体例を実践してみたい、と積極的なご意見をいただいております。今年度、寄せられた感想や疑問から、来年度もより充実した勉強会を実施していきたいと思っておりますので、ぜひ申し込みいただき、ご参加ください。



## 地域支援センターかぜくも 活動状況

【かぜくも相談内訳】

- 各園、各校の先生方の研修支援
  - ・ミニセミナー (144名)
- 早期教育の充実
  - ・かぜくもひろば (41名)
  - ・かぜくも教室 (6名)
- かぜくも相談 (165件)
  - ・電話・来校相談 (153件)
  - ・出かける相談 (12件)



### 皆さんのニーズをお聞かせください！！

特別支援学校では、地域の特別支援教育のセンター的役割を担っています。地域の多様なニーズに応じた支援を行っていくことが地域支援センターの役割と考えます。

ぜひ、地域支援センターを活用いただき、地域の皆様の声をお聞かせください。